

# 平成 2 8 年度 事業一覧と各課の意見

| No                    | 事業名  |
|-----------------------|--|
| <b>1. 中小企業の経営基盤強化</b> |  |
| 1                     | 滋賀県緊急経済対策資金の信用保証料助成制度の拡大延長                 |
| 2                     | りっとう創業塾の実施                                 |
| 3                     | 創業支援希望者のネットワーク構築                           |
| 4                     | 小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度の創設                    |
| 5                     | よろず支援拠点との連携によるサポート体制の確立                    |
| 6                     | よろず支援拠点による定期的な相談窓口の開設                      |
| 7                     | (仮称) 栗東市創業支援事業計画推進会議の立ち上げ                  |
| 8                     | 空きテナント活用によるチャレンジショップ事業                     |
| 9                     | 小規模企業者支援のための市管理職員による「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設 |
| <b>2. 消費者ニーズ創出</b>    |  |
| 10                    | 消費者ニーズ調査の実施                                |
| 11                    | 市民・消費者・事業者ワークショップ(懇談会)の開催                  |
| 12                    | くりちゃんバスの利用状況の調査                            |
| 13                    | 域内調達拡大運動                                   |

## <全般的事項> (元気創造政策課)

総合戦略及びシティセールス戦略に掲げる事業の具現化を図るため、現在、プロポーザルによる企画提案を募集しているところです。今後、提案内容を中心に制度設計を行ってまいりますので、4 課によるコア会議及びプロジェクト会議での連携をお願いします。

## <りっとう創業塾> (長寿福祉課)

- 連携 栗東 100 歳大学卒業後の新たな活躍・社会貢献での生きがいがづくりの一環として、健康づくりの支援、生活支援の中心的担い手とともに「企業」「兼業」「副業」として第二の創業としても想定している。  
学生の中には、起業について興味をもっている人もおられるため、りっとう創業塾について情報提供も可能。
- 説明 栗東 100 歳大学は、平成 27 年 9 月に開校。現在 37 名が週 1 回 40 回 (1 コマ 90 分) の学びの場。  
市民自らが社会の状況を理解し、健康づくりや助け合いなど「自助」「互助」を構築することで要介護認定率抑制を図ることが目的。  
大学生は、体系化されたカリキュラムを通して自らの関心に応じた学び直しを通じて「自分の老後に活かす」「地域の地域で活かす」「スキルをもって活躍する」ことを獲得。  
上記から左記事業について活躍できる人材の把握およびノウハウを助言できる枠組みをもっている。

## <チャレンジショップ> (長寿福祉課)

- 連携 栗東 100 歳大学卒業生の活動の 1 つとして健康生きがいがづくりアドバイザーとの協働による事業を行う予定があり、チャレンジショップの開催と卒業生の活動拠点 (1 月末まで) に活用できる可能性もある。

## <くりちゃんバス> (生活交通課)

- 連携 ①栗東市バス交通体系計画の見直し H28-H29 現状編 H30-H31 計画編  
・地域の現状把握・地域公共交通に係る上位・関連計画の整理・地域公共交通に係るニーズ等の把握・コミュニティバス運行の検証・評価
- 説明 平成 14 年度に作成した栗東市バス交通体系計画について立地適正化計画や県南部の公共交通機関の整備に連携し、また、地域公共交通網形成計画を見据えた中で現状把握及び計画の刷新を実施していく。
- 連携 ②「忍者」を起爆剤とした地域の公共交通利用促進・活性化事業  
草津線の利用促進を目的に滋賀県草津線複線化促進期成同盟会事業として沿線地域が「忍者」や歴史の舞台をテーマに魅力向上を含め交通アクセスの向上の促進、国内外からの交流人口の増加、乗車数増加を目指す。(栗東市では手原駅が対象)  
・歴史の舞台や東海道等の観光案内に加え、バスのルート案内等も含めたマップや看板を作成する。  
・栗東市商工会と連携しレンタル自転車の充実を図る。  
・インバウンドに対応するため数ヶ国語に対応した音声案内設備を設置する。などを検討中
- 説明 地方創生加速化交付金を活用し、同盟会全体としてはラッピング列車の運行や JR 草津線を活用した旅行商品造成促進を行います。市では受入環境整備事業として 4,042,000 円を活用し手原駅を中心とした案内機能やアクセス環境強化、魅力向上の整備を行います。

## <くりちゃんバス> (長寿福祉課)

- 連携 ・第 7 期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う日常生活圏域ニーズ調査  
【対象】一般高齢者：2,000 人 (無作為抽出) 要支援認定者・要介護認定者：全数  
【時期】平成 28 年 12 月実施予定  
(参考) ・買い物支援サービス協力事業者一覧  
買い物など在宅生活にお困りの人が安心して生活することを目的に、在宅生活の援助となるサービスの一覧表を作成し、市ホームページなどで公表
- 【対象】市内を対象エリアに日常的な食料品や生活雑貨の配達サービス (飲食店の出前を除く) や訪問での援助を行なっている事業者
- 【募集】広報りっとう 5/1 号・市ホームページ・FB にて掲載希望事業者の申込募集。把握している事業者に対し、申込・事業エリアの拡大・新たなサービスの提供依頼。
- 説明 ・第 7 期計画策定にあたり、生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握し、高齢者の生活状態に合った介護 (予防) サービスや権利擁護などの各種福祉サービスを提供するために実施。  
H25 年度調査 日常生活に関する調査項目 「バスや電車での外出」、「日用品の買い物」

|                           |  |  |
|---------------------------|--|--|
| <b>3. ブランド創出</b>          |  | <p><b>&lt;栗東ブランド&gt; (広報課)</b><br/> ○意見 ・各地で加速度的に広がる地域ブランドの取り組みには様々な様態があり、「何某ブランド」として定義付けるとき、それを受ける者の捉え方や経験的なイメージ、認識により多様で異なることから、統一することは非常に難しく、陳腐な事例も生んでいる。一定の目的を絞った範囲や目的を定めた制度設計で、何らかの超過収益力の効用を持たせることができるものとしてほしい。</p>   |
| 14                        | 栗東ブランドによる認証制度の設計                           | <p><b>&lt;認証ロゴマーク&gt; (元気創造政策課)</b><br/> ○連携 ・ロゴマークの作成については、栗東ブランド認証制度の策定を行う過程で、その必要性も含め総合的に検討していく予定です。<br/> ・ロゴマークありきではなく、制度設計の骨格を形成した段階で、作成についての検討を行います。</p>   |
| 15                        | 認証ロゴマークの作成                                 | <p><b>&lt;認証ロゴマーク&gt; (広報課)</b><br/> ○意見 ・それを記すること自体で付加価値をもたらすには、他と同じものであってもその差別化の価値が高いと賞賛を浴びることができるような戦略、栗東市自体がそのイメージの総体になる得ることに繋がる戦略が必要ではないか。</p>  |
| 16                        | シティセールス戦略等による積極的な情報発信                      | <p><b>&lt;シティセールス&gt; (広報課)</b><br/> ○連携 ・本年12月末でホームページ管理システム(CMS)の長期継続契約が満了することから、来年1月から新システムで管理することになり、管理委託契約後、8月頃からレイアウト・デザイン構築作業を進める。<br/> ○理由 ・ホームページが、インターネット上の栗東市への入り口となることから、基本デザインの設計や各課ページ精査、専用ポータルサイト作成管理について、全庁的な視点からの連携した取り組みが必要となる。</p>  |
| <b>4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出</b> |  | <p><b>&lt;栗東駅周辺まちづくり&gt; (元気創造政策課)</b><br/> ○連携 ・栗東駅周辺まちづくり基本方針に定める施策について、関係課との協議により、各事業の実施の可否も含めた検討を行い、実施計画の策定に繋げていく予定です。</p>   |
| 17                        | 栗東駅周辺まちづくり事業                               | <p><b>&lt;栗東駅周辺まちづくり&gt; (道路・河川課)</b><br/> ○連携 ・栗東駅周辺地区について、栗東市バリアフリー基本構想に基づき、バリアフリー化を進めています。具体的には、歩道における点字ブロックの改善・整備、段差の注意喚起等を平成30年度までに行う予定。<br/> ○説明 ・栗東駅周辺のバリアフリー化、利便性の向上は、駅前の活性化に繋がるものと考えます。<br/> ○連携 ・都市計画道路大門野尻線について、現在、栗東駅東側街区と大津能登川長浜線(旧中仙道)とのアクセスが図られるよう、守山市と共同して事業を進めている。<br/> ○説明 ・栗東駅周辺へのアクセス向上は、駅前の活性化に繋がるものと考えます。</p>  |
| 18                        | 栗東観光案内所の運営体制の拡充                            |  |
| 19                        | 空きテナントの現況調査                                | <p><b>&lt;空きテナント対策&gt; (住宅課)</b><br/> ○連携 空き家対策事業(空き家実態調査)<br/> ○説明 ・平成25年11月～平成26年2月に実施した空き家実態調査の追調査を今年度において実施し、調査結果を基に問題・課題点の整理を行う。<br/> ○連携 ・空きテナント対策の基礎資料作成においては、当課における空き家対策事業との整合性を図っていただきたい。<br/> ○説明 ・現在、関係各課において実施している空家等に関する個々の取り組みや、今後想定される事務等を基に実務上の問題点の掘り起こしや適切な対応を行うために栗東市空家等対策連絡会議を平成28年4月28日に設置し、関係課の連携を図る中で、栗東市における空家対策の方向性などについて検討中である。また、外部委員による協議会の設置、空き家対策計画の策定などを予定しているため関係課の連携を密にしていきたい。</p>   |
| 20                        | 既存のまつり等のイベントの検証と見直し                        |  |
| <b>5. 観光事業の推進</b>         |  | <p><b>&lt;あるもの探し&gt; (広報課)</b><br/> ○連携 ・今年度、SNSなどを活用した情報発信に関心を持った人を対象にそれら活用のノウハウ(画像、動画、記事コメント作成)を習得できる魅力発信塾を開催する。<br/> ○理由 ・市の魅力を市民の視線から掘り起こしてもらい、元気創造動画やFacebook ひいては広報紙に投稿してもらい、まちの魅力を市民全体が共有し、さらには市内外へ繋げていく機運を高める。</p>   |
| 21                        | 地域資源活用ビジョンの策定と効果的な運用                       |  |
| 22                        | あるもの探しの実施                                  | <p><b>&lt;あるもの探し&gt; (財政課)</b><br/> ○意見 ・コア会議だけではなく、もっと幅広く意見を聴取できる手法を検討したほうがよいのでは。<br/> ・現状としては、庁内に浸透していない現状も含めての意見。</p>   |
| 23                        | シティセールスに向けた戦略策定と運用(マスコットキャラクター活用による本市PR事業) | <p><b>&lt;マスコットキャラクター&gt; (広報課)</b><br/> ○連携 ・マスコットキャラクターの運用委託により、人的・時間的制約が緩和され、その活用の幅を広げることができる。<br/> ○理由 ・庁内イベントのほか市内外のイベント及び地域行事、民間事業所での活用を検討していく必要がある。</p>   |
| 24                        | 湖南4市の広域観光の効率化に向けた連携拡充                      | <p><b>&lt;グリーンツーリズム&gt; (農林課)</b><br/> ○連携 ・道の駅こんぜの里りっとうの利用状況や利用者のニーズ等を把握<br/> ○説明 ・こんぜの里利用者からニーズ把握ができる。 ハイキングとあわせ、山の活用方法を検討<br/> ○連携 ・金勝地域の特産品(こんぜ清流米・桃・ブルーベリー・いちじく等の果樹)とあわせ、農業振興とグリーンツーリズムの活用(収穫体験など)を検討。<br/> ○説明 ・桃といちじく、栗については引き続き農林課で生産振興しており活用を検討(桃の花の咲く時期やそばの花の時期にハイキングと花見をからめたりできる)<br/> ○連携 ・休耕田・空家を活用した、収穫体験用の作付けやオーナー制裁培、貸し農園、野菜の栽培教室などの市民交流の可能性を検討<br/> ○説明 ・ホースセラピーの実態調査をブランド補助金を出した状況報告から調査実施する。<br/> 休耕田を利用する取り組みを非農家から提案してもらって、空家を基点に取り組みないか検討する。</p> |
| 25                        | 観光客向けのマップやパンフレットの拡充                        |  |
| 26                        | グリーンツーリズムの実施に向けた実態調査                       | <p><b>&lt;グリーンツーリズム&gt; (農業委員会)</b><br/> ○連携 ・農地利用の意向調査を計画しています。<br/> 8月頃:調査票の送付(全農家・郵送) 11月末:集計 回収率は、30%程度と推測しています。(低い)<br/> ・アンケートを同時に実施する事は可能だが、グリーンツーリズムの定義が広範囲であるため、主旨を理解できるような平易さと回答の簡便さも必要とされたいと考えます。<br/> ・どの程度の調査を予定されているのか、冊子タイプのアンケート等で郵送料が増す場合、貴課に負担いただけるのか。</p>   |